

| | | | |
|------------------------|---|---------|----------------------------------|
| 1. 科目名(単位数) | 重複障害・LD等教育総論 (2単位) | 3. 科目番号 | |
| 2. 授業担当教員 | 坂本 美香 | | |
| 4. 授業形態 | 講義だけでなく様々な形態のグループ討議など、アクティブラーニングに基づいた履修者同士の実践的な学び合いを重視する。※可能であれば当事者または保護者による講話の機会を設ける。また重複障害については補講期間に関連施設の見学会なども予定している。 | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | |
| 7. 講義概要 | 2012年の調査で改めて発達障害傾向の児童生徒が全体の6.5%存在する、と明らかになった。その存在が年々クローズアップされる発達障害児だが、普通教育においては理解がなかなか進まない。また特別支援学校にもこの傾向がある児童生徒が増えつつあり、学校の枠を超えて発達障害児への対応が重視されている。発達障害に関わる基礎知識から指導技術までを網羅し、学校現場で彼らをどう支援し、その特性を伸ばしていくか、について実際のケースに触れながら具体的に指導していく。また障害の重度化・多様化が進む中で様々な障害を併せ持つ児童生徒も急増している。併せて重複障害についても説明していきたい。またスライドや画像、動画、独自の資料を多用し、グループディスカッションも活用する。本講座では、重度・重複障害、LD等発達障害の特性を学び、個に応じた発達支援が行える指導実践力を兼ね備えた教員をめざす。 | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害、重複障害について理解し、簡潔に述べることができる。 2. 学習障害(LD)の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 3. 注意欠陥多動性障害(ADHD)の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 4. 高機能自閉症、アスペルガー障害の特徴および支援のあり方を理解し、説明することができる。 5. 発達障害のある児童生徒へのコミュニケーション支援のあり方を学ぶ。 6. 発達障害のある児童生徒に対する教育の特質について理解し、説明することができる。 7. 特別支援学校現場における重度・重複障害児への対応について理解し、説明することができる。 | | |
| 9. アサインメント(宿題)及びレポート課題 | 【アサインメント】 毎回テーマに関連した事前・事後学習の結果を記述したノートを作成すること。 【レポート課題】 ①発達障害に関する特徴と支援について、②重度・重複障害児の実態と教育支援について | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】 柳本雄次・河合康編著『特別支援教育(第3版) 一人ひとりの教育的ニーズに応じて』福村出版、2019。 【参考書】 姉崎弘『特別支援学校における重度・重複障害児の教育』大学教育出版、2007。 サリバン著・榎恭子訳『ヘレン・ケラーはどう教育されたか-サリバン先生の記録-』明治図書、2014(改版)。 授業は資料配付・DVD等を使用する。 | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 <ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害、重複障害に関する特性を理解し、支援の在り方を説明できるか。 2. 発達障害、重複障害児に対する指導実践力がついたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。] <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への積極的参加(総合点の30%) 2 日常の学習状況(総合点の40%) 3 課題レポート(総合点の30%) | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | LD等発達障害については教育界だけではなく社会的にも関心を集め、その支援が喫緊の課題とされています。しかし、障害の様態は個々にきわめて多様かつ複雑なため、支援には基礎を踏まえた個別化が不可欠です。疾患の障害特性を踏まえた上で、1人1人の個性や特性を見極められるように、授業への積極的な参加を期待します。 | | |
| 13. オフィスアワー | 授業内(初回授業)で周知する。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション LD等発達障害とは-その定義、法制度、課題等- | 事前学習 | シラバスに記載した内容を読み、確認する。 |
| | | 事後学習 | 発達障害の定義等の理解を深める。 |
| 第2回 | 特別支援教育の展開と発達障害 | 事前学習 | 教科書の1章を読む。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第3回 | 発達障害児の認知の発達 | 事前学習 | 認知機能について調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第4回 | 発達障害児の社会性の発達 | 事前学習 | 子どもの社会性について調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第5回 | 自閉スペクトラム症の障害像と生活環境 | 事前学習 | 自閉スペクトラム症について調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第6回 | 自閉スペクトラム症の教育的支援 | 事前学習 | 自閉スペクトラム症の障害像を理解する。 |

| | | | |
|-------------|---|------|----------------------------------|
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第7回 | 注意欠如多動症の障害像と生活環境 | 事前学習 | 注意欠如多動症について調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第8回 | 注意欠如多動症の教育的支援 | 事前学習 | 注意欠如多動症の障害像を理解する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第9回 | 限局性学習症の障害像と生活環境 | 事前学習 | 限局性学習症について調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第10回 | 限局性学習症の教育的支援 | 事前学習 | 限局性学習症の障害像を理解する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第11回 | 協調性発達運動障害の障害と生活環境 | 事前学習 | 協調性発達運動障害について調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第12回 | 協調性発達運動障害の教育的支援 | 事前学習 | 協調性発達運動障害の障害像を理解する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第13回 | 通常学校における発達障害の児童生徒への教育的対応 -外部専門家との連携協働- | 事前学習 | 教育における外部専門家について調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第14回 | 重複障害児 / 重度・重複障害児とは -その定義、法制度、課題等- | 事前学習 | 単一障害と重複障害との差異について整理する。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 第15回 | 重度・重複障害児の教育的アプローチ | 事前学習 | 重複障害による生活困難を調べる。 |
| | | 事後学習 | 授業内容やグループで討議したことについてワークシートにまとめる。 |
| 期末試験：レポート課題 | | | |